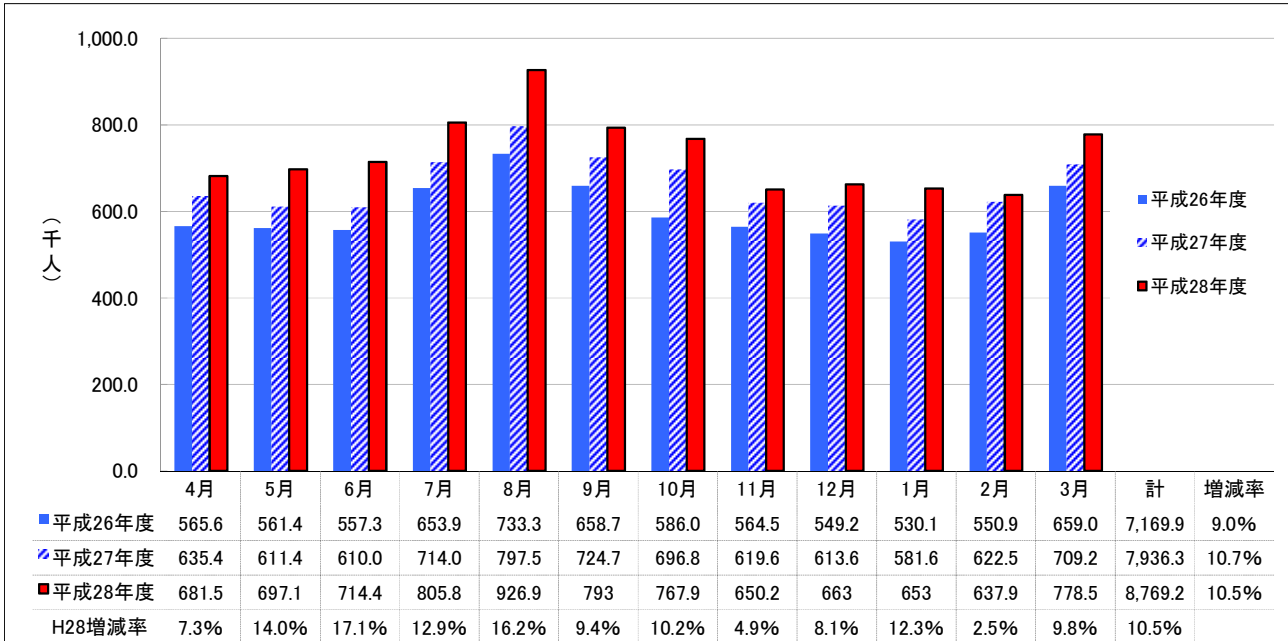


平成 28 年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 29 年 4 月発表

平成 28 年度の観光客数は、876 万 9,200 人で過去最高
対前年度 (H27) 比 +83 万 2,900 人、+10.5%

■月別入域観光客数の推移（平成 26 年度～平成 28 年度）



■平成 28 年度の概況（総括）

平成 28 年度の入域観光客数は 876 万 9,200 人で、対前年度比で 83 万 2,900 人、率にして 10.5% の増加となり、4 年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新した。外国客においては初の 200 万人台を記録した。

また、前年度に続き、月別では、全ての月において前年同月を上回るとともに、各月の過去最高記録を更新した。

前年度と比べて増加した要因は次の通りと考えられる。

- 官民あがてのプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと
- 関係機関及び民間事業者と連携した受入体制整備の取組により、満足度向上等に努めたこと
- 国内航空路線の拡充による国内客の増加
- 海外航空路線の拡充・クルーズ船の寄港回数増による外国人観光客の大幅増

■平成 29 年度の見通し

景気は民需を中心とした景気回復が見込まれることや、各航空会社による航空路線の拡充があることから、国内観光地との競合が想定されるものの、国内旅行市場は堅調に推移するとみられる。

また、外国客については、東アジアの主要国・地域において航空路線拡充の動きがあることや、クルーズ船の寄港回数が昨年を大幅に上回る予定となっていることなどから、引き続き、好調に推移するものと見込まれる。

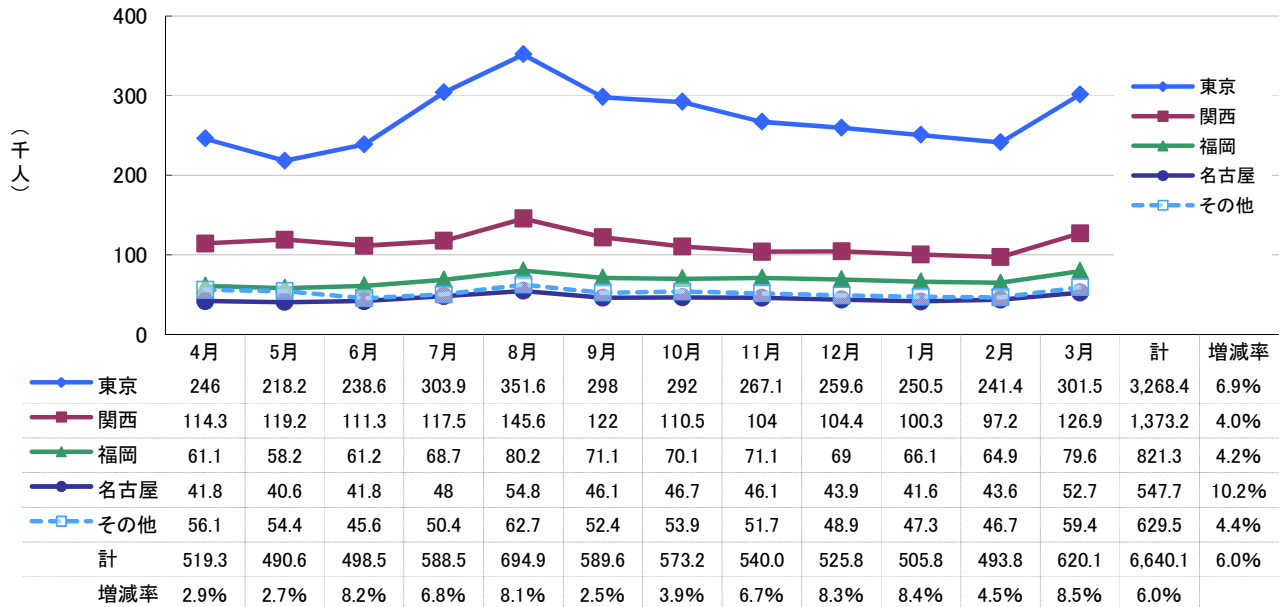
春と秋には、大規模な学術会議等が予定されており、国内外からの誘客効果が期待出来る。

国内観光客の動向

■入域観光客数（国内）

平成 28 年度の国内客は、664 万 100 人で、対前年度比で 37 万 4,100 人、率にして 6.0%の増加となり、過去最高となった。これまでの国内客の過去最高の入込は、平成 27 年度の 626 万 6,000 人。

■平成 28 年度国内観光客の状況（方面別の月別推移）



■国内観光客の概況

平成 28 年度は、昨年と比べると台風の影響が少なかったことや、景気回復基調が継続したこと等から、全体として国内旅行需要は好調に推移した。羽田－宮古路線の新規就航等の航空路線の拡充に加えて、羽田・伊丹－那覇路線や、各離島への直行便も好調であったこと等から、前年度を上回った。

【方面別の動向】

東京方面 羽田－那覇路線及び離島への直行便が好調であったことや、LCCによる新規就航があったこと等により、羽田・成田方面ともに前年度を上回った。

関西方面 伊丹－那覇路線を中心とした航空路線の拡充や、関西から宮古・石垣への直行便がいずれも好調であったこと等により、前年度を上回った。

福岡方面 4月の熊本地震の影響が懸念されたものの、福岡－那覇路線において提供座席数が増加し、入込客数が好調に推移したこと等により、前年度を上回った。

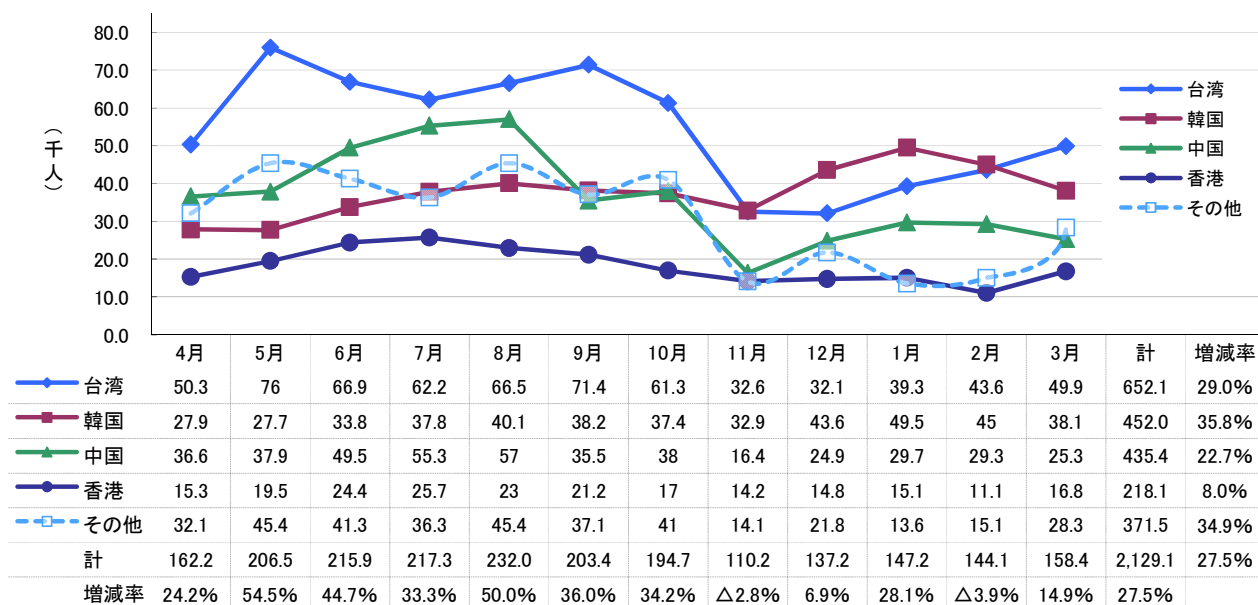
名古屋方面 名古屋－那覇路線において提供座席数が増加したことや、LCCが好調であったこと等により、前年度を上回った。増加率は主要方面で最も高かった。

外国人観光客の動向

■入域観光客数（外国）

平成 28 年度の外国客は、212 万 9,100 人で、対前年度比で 45 万 8,800 人、率にして 27.5%の増加となり、国内客同様過去最高となった。これまでの外国客の過去最高の入込は、平成 27 年度の 167 万 300 人。

■平成 28 年度外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



■外国人観光客の概況

平成 28 年度は、昨年度から引き続き、訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船の寄港回数が夏場を中心に大きく増加したことにより、海路客も大幅に増加した。

【国籍別の動向】

台湾 バニラ・エアによる台北－那覇路線の新規就航やLCCの増便などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに過去最高であった昨年度を上回り、方面別で最大の入込となった。

韓国 大韓航空によるソウル－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高を記録し台湾に次ぐ入込となった。

中国本土 南京－那覇路線の新規就航や、中国発のクルーズ船の寄港回数の増により、空路・海路ともに増加、過去最高を記録した。

香港 香港エクスプレスによる香港－石垣路線の新規就航や、香港発クルーズ船の寄港などにより、空路・海路客ともに増加、過去最高を記録した。